

鷺池葵

見えないものに目をこらすための

凧が  
葉を落としてゆくよ  
もと来た場所に  
還してゆくよ  
根っこに  
力を養うために  
いのちを  
しずかに  
深めるために  
ああ  
誰かが  
囁くよ  
夏輝いた  
枝々は  
風に洗われ  
身軽になるが  
いのちの大地は  
根を抱いて  
いちばん  
近くに  
見えないものに  
目をこらす意味  
今　ここの  
芽吹き  
の兆しを